

- (1) (c)
→ 「すでに犯してしまった罪を許す」場合に使える動詞として、重い罪などを許すのが forgive, ちょっとしたことであれば excuse を用いる。overlook は意図的に軽い罪を見逃す (=大目に見る, 見て見ぬ振りをする) こと, もしくは気づかずにミスなどを見逃す (=見落とす) ことの2つの意味を持つ多義語である。
- (2) (a)
→ 「事前の許可」を与える場合に使える動詞として, allow は比較的個人的な許可を与えるのに対し, permit は公的な許可を表す。また, 名詞としては allowance が「お小遣い», permission が「許可», permit が「許可証」である。
- (3) (d)
→ prohibit = 「禁止する」である。類義語として ban (禁止する) や restrict (制限する), outlaw (法律で禁止する) も知っておくと良い。
- (4) (c)
→ meddle with ≡ interfere with で, 「口を出す, おせっかいをする」というニュアンスの「干渉」を表す表現である。
- (5) (b)
→ freedom と liberty はどちらも「自由」と訳されるが, その使い分けには注意が必要。本当の意味で使いこなしたいのであれば, 主要な用法についてはある程度覚えてしまう必要があるだろう。
- (6) (a)
→ voluntary は「人の意思として自発的に», spontaneous は「(人の意思に関わらず) 自然発生的に」である。なお, accord は of one's own accord の形で用いられると「自発的に」の意味になり, autonomous は「自主的な, 自治的な」である。
- (7) (d)
→ supply と demand は対になる表現で「供給」と「需要」の意味を持つ。この二つは頻繁にセットのコロケーションで使われるので, まとめて覚えるようにしてほしい。supply はそのままだが, demand は「要求」という意味もあり多義語なので注意が必要。
- (8) (c)
→ これは難問。abandon は「子供・ペット」を捨てるイメージが強いが, 実は「作業・計画」等にも使えるので重要である。get rid of は「無くなったことによりせいせいする」イメージ, dispose of も「要らないものを処分する」イメージである。desert は「街・地域」が荒廃することに用いられることが多く, 実は「妻/夫(子)」を捨てる時にも用いる。
- (9) (a)
→ こちらも単語の実践的な経験知識が求められる厄介な問題。enhance は「強化する», accelerate は「加速する», urge は「何かをすることを強く促す」なので, どれも少しずつイメージから外れる。とはいえコロケーションを聞いたことがないと, 自信を持って判断することは難しかっただろう。
- (10) (b)
→ be up to ... = 「...を企んでいる」である。類義語として, plot や scheme もただの「計画する」という意味だけでなく, 「企む」というニュアンスを持ちうる単語として押さえておくと良い。